

後期基本計画 令和 3年度 政策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 齋藤 克也

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	生活基盤を整備、維持することにより、子どもから高齢者までが、安全に安心して暮らすことができる、ひとにやさしいまちづくりを目指します。また、活力あふれるまちを目指し、交流と活力、雇用の拠点づくりを進めます。
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	68.6	76	77	79	80	80	-
			70.6	68.8	-	-	-	0.0
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	69.2	76	77	79	80	80	-
			69.1	68.1	-	-	-	0.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75.6	77.1	78.5	80	80	-
			70.6	0	-	-	-	0.0
2	幸福 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	-
			69.1	0	-	-	-	0.0
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 交通事故発生件数 単位 件以下	71	71	71	71	71	71	-
			60	0	-	-	-	0.0
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	-
			69.1	0	-	-	-	0.0
5	暮らし 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %	49.2	50	50	50	50	50	-
			49.2	0	-	-	-	0.0
6	幸福 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	-
			69.2	0	-	-	-	0.0

後期基本計画 令和 3年度 政策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 齋藤 克也

2. 政策の実現に向けての現状を認識する

(1) 政策目標の進捗状況分析

- ・ビッグルーフ滝沢や滝沢中央スマートインターチェンジの整備により、交流や活力、雇用の拠点づくりに向けた環境が整いつつあります。
- ・平成29年9月に策定した「滝沢市地域公共交通網形成計画」に基づき、市民や関係機関と連携して持続可能な公共交通について具体的に検討するとともに利用促進を図る必要があります。
- ・上下水道は、市民生活やまちづくりに欠かすことのできない重要インフラであり、安定的な事業の継続が求められていることから、事業の効率化と基盤強化を図りながら、施設の整備や更新、災害対策等を計画的に進めています。

(2) 政策の実現に影響する社会環境変化

- ・国からの補助金・交付金が減少し少子高齢化が進展するなか、行政と市民が協働して事業を推進する体制づくりが必要です。
- ・震災復興事業等も完了することから建設業界も大きく変化するものと思われませんが、引き続き人手不足、高齢化に伴うオペレーターの確保等に注視すると共に新型コロナウイルス感染症による影響についても注視する必要があります。
- ・東日本大震災以降も全国各地で地震や台風などによる大きな被害が発生しており、災害時におけるライフラインの確保に対するニーズが、より高まっています。
- ・水道法の改正、広域連携や官民連携の推進など、上下水道事業の基盤強化を目的として、国による様々な取組が進められています。

3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・交流と活力、雇用の拠点づくりに向けた土地利用関連事務について、関係機関との協議及び調整を進めます。
- ・度重なる豪雨等による浸水対策について、内水対策も含めた安全対策を検討し実施します。
- ・本市に相応しい持続可能な公共交通について、市民や関係部署、関係機関と連携して検討します。
- ・歩行環境の充実等安全な道路および河川環境の整備を着実に進めるとともに、今あるストックが安定し持続可能なものとするため地域の連携と中長期的視点による事業を展開します。
- ・持続可能な水道事業経営のため、市民との情報共有や共通理解に努めながら、コスト縮減と財源確保に取り組めます。
- ・安全で強靱な水道を目指し、水源保全や施設の適正な維持管理を行うとともに、老朽施設の更新と耐震化を推進します。
- ・効率的な汚水処理施設の整備と普及促進、適正な維持管理を行うとともに、経営戦略の見直しや下水道使用料の検証等を実施し、事業経営の健全化と基盤強化に取り組めます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題

- ・中心拠点形成に向けて、土地利用計画に係る関係機関との協議調整及び関連する市道向新田線の整備を進めます。
- ・良好な住環境に形成に向けて、空き家対策計画を策定します。
- ・小岩井駅前広場整備事業を推進します。
- ・準用河川仁沢瀬川改修事業の推進するとともに大釜地区下水道(雨水)浸水対策事業を推進します。
- ・行政と市民が協働して事業を実施する体制の構築を進めます。
- ・水道事業後期経営計画に基づく施設の更新整備と耐震化を推進します。
- ・料金徴収等業務の次期包括的委託に向けた検証及び利用者に向けた積極的な情報発信を行います。
- ・公共下水道における接続率向上の取組及びアセットマネジメントを実施します。

(3) 基本計画内方針及び令和 3年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・中心拠点形成に向け、土地利用計画にかかわる関係機関との協議調整及び関連する市道の整備を進めます。
- ・小岩井駅前広場整備の事業を推進します。
- ・準用河川仁沢瀬川改修事業の推進するとともに大釜地区下水道(雨水)浸水対策事業を推進します。
- ・行政と市民が協働して事業を実施する体制の構築を進めます。
- ・道路、河川の整備・維持管理・更新事業計画を着実に進めます。(交付金事業等)
- ・事業の効率化、安定財源の確保、人材育成など、上下水道の基盤強化に向けた取組を推進します。
- ・災害に強い上下水道施設の構築や体制整備を推進します。
- ・利用者ニーズの把握とサービス向上のための取組を推進します。

